



あひるぐみだより



3月

2025年3月3日 保土ヶ谷保育園
あひる組担任一同

最近の子どもたちの様子

散歩に行く時の「バギーがいい！」という声よりも、「あるく！」「〇〇ちゃん・くんがいい！」と言って歩く姿が見られるようになってきました。また、自分でやる！と靴・靴下・衣服の着脱など苦戦をしながらも自分で最後までやろうとする事が増えてきました。そんな姿を近くで見ている子どもも真似してやってみるなど微笑ましい姿ばかりが見られます。

4月、あひるぐみになった頃は、まだまだ赤ちゃんだった子どもたちも、ずいぶん遅くなりました。体も大きくなり足腰もしっかりして、走ったりジャンプしたり、とても力強くなりました。お友だちとごっこ遊びや見立て遊びをするのも上手になり、可愛いやりとりが見られます。じっと見ていると大人のやっていることを真似していることも多く、思わず笑ってしまうことがあります。「やだよー！」「だめだよー！」と言い合っているけど、「いいよ」「いっしょにあそぼー」「どうぞ」とやさしい言葉に変わっていき、自分たちで気持ちを切り替えることができるようになってきていることに、感心させられます。

きりん組のみんなありがとう♡

ホールで遊んでいる時は、いつも優しく声を掛けてくれたり一緒に遊んでくれたりするきりん組が時々部屋に遊びに来て、給食後の着替えや午睡の時のトントンもしてくれています。あひる組のみんなに！と言って手作りのおままごとのおもちゃをプレゼントしてくれる優しいきりん組。そんなきりん組とも、もうすぐお別れ。少しでも多く交流をしたいと思います。きっとあひる組のみんなも、沢山優しくしてもらった分大きくなった時小さい子に優しくできる素敵なお兄さんお姉さんになるんだろうな…と楽しみに担任です。



おおきくなったね！

「お散歩、ホールに行けるよ？」と声を掛けると、それぞれ行きたい所に対して身支度をできるようになってきました。靴下の先端だけ入れてあげたり、靴は履きやすいように入り口を広げてあげると、一人で履けることも増えました。やりたい気持ちを大切にしたり、さりげなく援助をしたりしています。お散歩から帰る時は、「まだあそびたい」「て(手)つながない」とイヤイヤになることもありますが、「今日のご飯なんだろう？」「お肉かな？お魚かな？」と給食の話題を出すと「(給食)みにいく！」と帰ることも増えてきました。2歳になり食事の好みも出てきて「いらない」「いやだ」とはっきり拒否することもあります。保育者の声掛けだけでなく、一緒に食べている友だちからの刺激を受けて食べて見ようとする姿も見られています。

最近では排便排尿の前後に保育者に知らせてくれる子も出てきました。トイレに行きたがる子もいますが、行きたがらない子もいます。排尿間隔には個人差がありますので無理強いせずそれぞれの成長に合わせて声をかけています。なにより友だちからの影響が大きい時期になっています。出来た事を保育者も友だちも一緒に喜び、嬉しい気持ちが新たな「やる気」に繋がっていくのを見守っていきます。

あひる組のみんな！ これからも、たくさん遊んで、食べて、いっぱい寝て大きくなってね！